

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13099	4	前期	必修	3	135
授業科目名 (英文)	臨地実習Ⅲ(給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理) (Field Training Ⅲ)				
担当教員名	○小城 明子／森本 修三／酒井 理恵／細田 明美				
授業の概要及び到達目標					
<p>【ねらい】3週間の病院実習を通して、給食の運営、臨床栄養学、給食経営管理論の理論と実践の統合を図る。</p> <p>【概要】大学で学んだ知識・技術をもとに、実際に医療現場で働く管理栄養士から直接指導・助言を受けながら、より具体的・個別的に病院における給食の運営と給食経営管理および臨床栄養管理を学ぶ。</p> <p>【到達目標】①医療従事者としての自覚をもつことができる。守秘義務を守ることができる。②病院における給食の運営、給食経営管理、栄養管理業務について実施することができる。③病院におけるチーム医療の在り方について理解している。④医療の場における患者との関係の在り方を理解している。⑤病態別の食事療法・栄養療法を正しく理解し、栄養管理・栄養教育を実施することができる。</p>					
準備学習等					
3年次までに履修した科目の教科書および参考図書、授業資料により、調理学、食品学、給食経営管理論、栄養教育論、公衆栄養学、臨床栄養学、総合演習Ⅰなどの復習をしておく。また、実習に関する学内保管資料（閲覧自由）や病院のホームページなどを参考に、各病院の特徴や業務の概要を理解しておく。					
成績評価の方法	実習先の指導者による実習中の態度と成果（50%） 担当教員による実習前・中・後における取組み姿勢（30%） 実習ノートから個人テーマの成果（20%）				
テキスト	「臨地・校外実習の手引き 第2版」、木戸詔子・福井富穂編（化学同人） (ISBN978-4-7598-1195-7)				
参考図書	これまでに履修した科目の教科書および参考図書、授業資料				

備 考	<p>本科目の受講には、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学実習Ⅰ、臨地実習ⅠまたはⅡの修得が必要である。</p> <p>履修中は、担当教員への報告・連絡・相談を行うこと。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図の通り。</p> <p>オフィスアワーは desknet's の一覧を確認すること。</p>
授 業 計 画	
<p>給食の運営（135分×15回）および給食経営管理（135分×15回）</p> <p>第1回 実習前指導、事前準備、オリエンテーション</p> <p>第2回 給食の理念・目的・目標、施設特性、栄養士・管理栄養士業務</p> <p>第3回 給食組織、供食システム、他職種との連携</p> <p>第4回 アセスメント・栄養計画、喫食者の権利や個人情報保護</p> <p>第5回 食事計画・献立計画</p> <p>第6回 食材管理、品質管理</p> <p>第7回 生産管理、工程管理</p> <p>第8回 食事オーダー、配食、配膳、食堂管理</p> <p>第9回 顧客管理（個人情報保護を含む）、食数管理</p> <p>第10回 下膳、洗浄、清掃、残食処理</p> <p>第11回 会計・原価管理、予算、収支</p> <p>第12回 施設・設備管理</p> <p>第13回 給衛生管理・リスクマネジメント</p> <p>第14回 帳票類管理、給食評価、業務評価、栄養教育</p> <p>第15回 実習後指導、評価、まとめ</p> <p>臨床栄養学（135分×15回）</p> <p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 施設栄養食事基準と個別対応の実際</p> <p>第3回 チーム医療（NST、クリニカルパスなど）・他部門との連携の実際</p> <p>第4回 栄養スクリーニング・栄養アセスメント（身体計測・臨床検査値・食事摂取状況）</p> <p>第5回 栄養ケア計画の作成</p> <p>第6回 病院食（一般治療食・特別治療食）の実際</p> <p>第7回 経腸・静脈栄養法（適応・禁忌・種類・処方）の実際</p> <p>第8回 栄養管理・栄養食事指導の報告書の実際</p> <p>第9回 診療録（カルテ）の実際</p> <p>第10回 個人栄養食事指導（外来患者・入院患者）</p> <p>第11回 集団栄養食事指導（教育入院を含む）</p> <p>第12回 栄養モニタリング</p> <p>第13回 チーム医療への参加（カンファレンス、病棟回診）</p> <p>第14回 症例を通しての栄養管理の実際</p> <p>第15回 勉強会への参加</p> <p>計 135分×45回</p> <p>実習順や各テーマの詳細は、受入施設の実習プログラムに沿う</p>	